



第1部 薄れゆく記憶を「INORI」に込める

ライブ&トーク ~いのちといのり~ シンガーソングライター 佐々木 祐滋

ある一人の被爆者に「あなたには禎子の物語を語り継ぐ責任がある」と告げられた。一人でも多くの人に命の大切さを伝えるために禎子の思いを、彼は歌い継ぐ。



第2部 原爆投下の真相を紐解く

講演「原爆が投下された本当の理由」 講師 進藤 栄一

「日本の降伏を早め、本土決戦に伴う日米双方数百万の人命を救うためであった」。今、この詭弁は崩壊した。アメリカによる原爆投下には隠された真の狙いが存在していた。おぞましい絶滅兵器の使用には「パクス・アメリカーナ」への道を作り出すための政治的目的があった。歴史的証拠を紐解き、その真実を解き明かします。



☆講師紹介☆

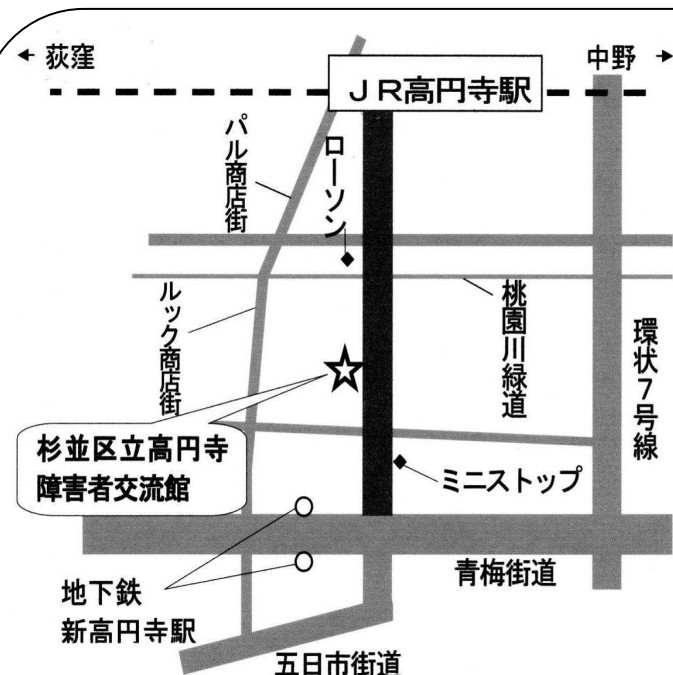
◇佐々木 祐滋 (ささき ゆうじ)

1970年福岡市生まれ。ラーメン屋の店長の傍ら、世界各地の平和イベントで活躍するシンガーソングライター。広島平和記念公園の「原爆の子の像」のモデルである叔母 佐々木禎子のストーリーを父や祖父から聞き、薄れゆく記憶を、そして、禎子を襲った悲劇を語り継ぐことが自分の使命であると悟り、ソロ活動を開始。作曲した「INORI」は日米で好評を博し今夏メジャーデビュー。人命の大切さ、戦争の悲惨さを学校で音楽を通して伝える「学校ライブ」を10年以上に亘り、延べ300校で行う。

◇進藤 栄一 (しんどう えいいち)

1939年北海道帯広市生まれ。京都大学法学部卒、同大学大学院修了の法学博士。筑波大学教授を経て現在同大学名誉教授、早稲田大学アジア研究機構客員教授など。

著書『戦後の原像—ヒロシマからオキナワへ』(岩波書店)、『敗戦の逆説—戦後日本はどうつくられたか』(ちくま新書)、『分割された領土—もうひとつの戦後史』(岩波現代文庫)など。



<杉並区立高円寺障害者交流館>

杉並区高円寺南 2-24-18

TEL 03-5306-2627

☆JR 高円寺駅より

駅南口から右手に見える大通りを南下、坂を下り、その後坂を少し上ると緑色のガラス張りの建物が見えます。それが、高円寺障害者交流館です。

☆地下鉄丸の内線 新高円寺駅より

地上に出ますと目の前に青梅街道が見えます。青梅街道を中野・新宿方面に。交差点を左、しばらくまっすぐ行き坂を下ります。坂の途中に緑色のガラス張りの建物が見えます。それが、高円寺障害者交流館です。

【杉並区立高円寺障害者交流館】

杉並区高円寺南 2-24-18 TEL 03-5306-2627

JR高円寺駅より徒歩 8分・地下鉄丸の内線 新高円寺駅より徒歩 6分